

7436-31

271  
2  
227

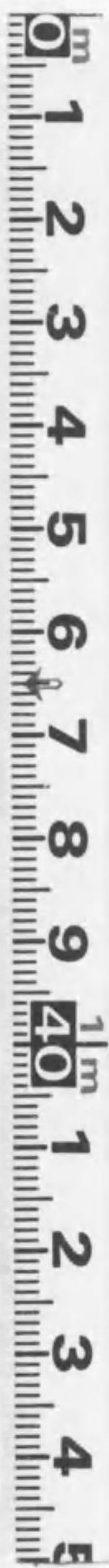
特273

751

中島 這季君 著 中島 這棄君 校訂  
又部大書記官辻新次君序 大藏權少書記官野中準君跋

# 算一瓢百題 完

東京 小笠原書房出版



# 始





73  
算 法

一 瓢 百 題

壹 冊

十八年九月刊

中島 這 李 撰



特273

算法

一瓢百題

卷一

中島這季君

十八年八月

算法 一瓢百題 完

故中島這季君 著 中島這棄君 校訂  
文部大書記官辻新次君序 大藏權少書記官野中準君跋

東京

小笠原書房出版



算法一瓢百題序

夫功不獨出於已。使人有功於世。則其爲功也大矣。中島這季翁。松本藩士。與余同鄉。少好九章術。遂究其蘊奧。嘗爲藩計吏。服劇職。暇則以算法教授子弟門生。又著算法一瓢百題。今茲翁長子這棄。校訂其書。將上梓以公乎世。來乞余序。且曰。世雖多算書。未有一題而變化至百者。先考之意。蓋在使初學喜新奇而不厭倦也。余不深通算學。故姑舉所感語之曰。計吏掌金穀。爲樞要官。翁任之。勤敏協職。其功多矣。而更有大焉者。吾子繼翁箕裘。亦爲計吏。且教授生徒。進乎技



者不爲少。第二子市川正寧。任大藏大書記官。爲租稅局長。第三子伊藤祐敬。亦爲會計検査官。皆能協其職。其有功於世亦多矣。而是皆翁平生教授得宜之由。所謂功不獨出於已。使人有功於世者非邪。翁又更有此著傳之不朽。以益後學。嗚呼翁之功可謂大矣。是余之所感也。遂書以爲序。

明治十五年十月

信松辻新次撰

百生や蔓一筋の心かゝるとも三界唯一心の意をいへるとか實は百の學びの一筋より千變萬化の題は臨ま機は應るの術路を得へし抑瓢の貴き事顔氏も一瓢の飲に泰んし孔門三千は冠あり羽柴秀吉公は馬驗に之を用ひ有功の度毎に一瓢を増加して武威を四海の外に輝りせり然きとも以之算題と爲せしとは更に一箇も見聞せざる所なり間嘗て童蒙の求めに應じ偶繇之日用取扱の間を設けて與へたりしを珍らかに聞なむつ、一入勵みて容易く其答數を得たり思ふに夫閭巷



之珍説にハ三歳の童子も耳を聳つる慣ひ今よ始まら  
 せ左も有ぬへしと思ふものからこそは續きて問と設  
 け書を綴りぬるよ日を経て既に百之數に滿ちぬ爰に  
 おいて一瓢百題とかけ童蒙教示の羽翼とも爲んと  
 す今夫割烹を善する者も魚鳥藻菜必しも人の食と馴  
 せざる物を撰むにあらせ只調味をあらたにせざるあり  
 蓋是亦術技ハ該く古きよ憑り唯其形容を新にせざる而  
 已周雖舊邦其命維新なりと謂るかたきや且固より遊  
 山逍遙の器かきは設る所の題辭自から華美快樂の粹

共多し此面白さに乗し手の舞足の蹈を知らせ習學の  
 勞を忘れていつしか雲霧を披き青天と觀るか如くも  
 なることあらは徼倖又大ならんと事情を述てはし書  
 とす

萬延元年庚申十二月

洪示

中島這季識



算法一瓢百題

凡例

- 一 此篇普通教科書の如く順序を逐ふて難易を區別せむ故らに之と混同して編製せしは是れ却て初學の輩をして等閑に看過せず一問一題と雖能く注意思考せしめんとを要する爲めなり
- 一 初學の輩動もすれば倦怠を生ずるの恐れなき能はず因て時々新奇なる問題を掲げ其思考力を新にするとき其裨益亦少ならずとみす此篇即ち然り故に高尙の問に及ばず
- 一 此書先人の遺稿に係る故に敢て改正加削せずと雖物價兩替の如き今と大に異なる者も至て其數を増し其稱



を變る者あり是れ實に止むを得ざるに出ればなり看  
官請ふ之を了せよ

男 中島這季識

算法一瓢百題

中島這季著

問題

- [一] 瓢あり其量を知らず每升價三十錢の上酒と二十二錢五厘の下酒とを混じて之に盈てるに其調合下酒は上酒より内二割寡量よして此價三十六錢なりしと云瓢量幾許
- [二] 瓢あり今之に每升二十八錢の上酒と二十一錢の下酒とを混じて盈てるに下酒の上酒より外二割多量に調合をるときに此價二十六錢六厘二毛ありしと云瓢量幾許
- [三] 大小の兩瓢あり其量一ハ一升三合にして一ハ九合なり今大瓢に上酒を盈て小瓢に下酒を盈つれば共價五十錢五厘となる若し之を交換して盈つれば共價四十八錢五



厘あるべし各一升の價幾許

〔四〕 上酒一升價二十五錢下酒一升價二十錢の者あり今之を

調合して一瓢に盈つるに上酒は下酒より三合多くする

ときは此價三十錢あるべしと云瓢量幾許

〔五〕 瓢あり其量一升三合之に新酒及古酒と等升と調合して

購ふときは價金二十六錢を要す而して古酒は新酒より

一升毎に十錢貴しと云新古毎升の價幾許

〔六〕 前瓢と新古酒を調合して購ふと古酒を五合とすれば價

金二十六錢四厘を要すべし而して其古酒の價は新酒の

價の六分の五なりと云因て各一升の價幾許

〔七〕 復前瓢と新古酒を調合して購ふに古酒を六合とせば價

二十九錢なり而して新酒は古酒より升量同して價内二

割賤しと云毎升價幾許

〔八〕 金三十錢を投じて毎升價二十錢の新酒と二十五錢の古

酒とを沽ひ之を和滑して一升三合容の瓢に盈たしめん

よは各酒幾許調合して可あるや

〔九〕 瓢あり其量一升三合あり今價を等くして之に毎升價二

十四錢の上酒と十五錢の下酒とを盈てんと欲す各酒幾

許調合すべきや

〔〇一〕 爰よ一升三合を容る、瓢あり毎升價二十七錢の酒三分

の二と二十四錢の酒三分の一との比例を以て之に合盈

せんと欲を然らば幾許錢を要するや

〔一一〕 瓢あり其量一升三合之に毎升二十二錢の新酒及若干錢

の古酒を等分よ盈つれば價三十二錢五厘なり古酒毎升



の價幾許

〔二一〕

大小二瓢あり共に毎升二十八錢の酒を盈て其價を算するに小瓢二個より大瓢一個の價を減すれば一錢四厘を剩し又大瓢二個より小瓢三個を減すれば亦十六錢八厘を剩すと云各容量幾許

〔三一〕

容量一升一合と七合の兩瓢を所有する人あり其人出遊毎よ必ず兩瓢中一瓢を携へざることなし或日携ふる所の忘憂物を算するに共よ一斗四合に及ぶと云因て兩瓢提攜の度數幾許

〔四一〕

或人春光の麗なるに乗じ日々節を曳て郊野に漫遊す其時必ず一升一合容の瓢を携ふ然して購ひ得し忘憂物は三升宛數度に及びしが僅に七合を餘せりと云因て漫遊

日數幾許

〔五一〕

一升四合容の瓢に下酒を購ふより一升一合容の瓢に上酒を購へば價一錢四厘貴し但し毎升價合せて四十九錢なり問ふ各一升の價幾許

〔六一〕

瓢あり其量一升四合之よ兩に三升二合の酒を購ひ其價を拂はんとして金二分を與へしに計算して六百文を返還せりと云因て錢兩替幾許

〔七一〕

瓢あり其容量を云はず只云毎升價十四匁の青州を盈つれば價三貫百三十六文又云毎升價二貫五百六十文の平原を盈つれば價二十二匁四分なり因て瓢量幾許

〔八一〕

或人三合容の小瓢に一升價二十五錢の醇酒を購ふ其價額ハ明治大銅錢寛永大小銅錢の三品にて共よ四十六個



〔九一〕

を與ふべしと然らば各錢幾個宛與へて可あらんか  
瓢あり其量一升三合之よ每升價五錢違ひの上下酒を混  
じて盈つるよ其内上酒の價をして十六錢八厘下酒の價  
をして十六錢一厘と爲さしめんとす如何か混淆すべき  
や

〔〇二〕

每升價二十八錢八厘の上酒と二十四錢の下酒とを混じ  
て一升三合容の瓢よ盈つるよ下酒の價をして上酒の價  
より四錢八厘多からしめんと欲す如何か混淆すべきや

〔一二〕

一升三合容の瓢よ上酒を盈て之を八合五勺容の瓢よ下  
酒を盈つるよ比すれば其價十六錢貴し但し上酒より下  
酒の一升の價四錢賤し每升價幾許  
大中小三瓢あり共に其量を知らず只大瓢二個中瓢一個

〔二二〕

にて共に三升一合中瓢二個小瓢一個にて共に二升五合  
五勺小瓢二個大瓢一個にて共よ二升六合あるを知るの  
み因て各瓢の量幾許

〔三二〕

花鳥風月の四瓢あり其量を互よ併せば花鳥風よて三升  
四合鳥風月にて二升八合風月花よて三升一合五勺月花  
鳥にて二升九合五勺なり各瓢の量幾許

〔四二〕

友人團樂して瓢酒を飲む先七勺入の琥珀にて各三回宛  
傾けしよ九勺の剩餘あり因て其欠を補ひ更よ四勺の琥  
珀よて五回宛傾けしよ亦一合五勺の剩餘ありと云瓢の  
量幾許

〔五二〕

復宴を開きて瓢酒を酌むよ若し一合二勺の爵よて各二  
回宛飲めば瓢底猶一合五勺を剩すべし是よ於て九勺の  
七



〔六二〕

爵よて各三回宛飲みしに全く盡くと云因て瓢量幾許  
瓢に酒あり之を若干人に分配するよ毎一人二合宛よす  
れば五勺不足を生ず因て更に一合五勺宛よせしよ三合  
餘れりと云瓢量幾許

〔七二〕

容量一升五合程に見ゆる一瓢に酒を盈てるゆり之を三  
勺三抄の觥にて酌えしに三勺餘きり又之を二勺六抄の  
觥よて酌えしに亦二勺四抄餘れりと云ふ瓢量幾許

〔八二〕

大小兩瓢あり大瓢量の平方根に小瓢量を加ふれば二升  
一合五勺而して大瓢量より小瓢量の四合九勺少なしと  
云各瓢量幾許但し升を單位とす

〔九二〕

大小兩瓢あり其量一升五合と九合なり今之に毎升價二  
錢一厘違ひの上下酒を盈つるに大瓢を上酒とあし小瓢

を下酒となせば其價五十六錢九厘一毛なりと云各一升  
の價幾許

〔〇三〕

更科越路と號する二瓢あり其量共よ二升五合八勺而し  
て更科より越路は外一割五分増なり各瓢の量幾許

〔一三〕

芳野竜田と號する二瓢あり其量共に二升二合二勺而し  
て芳野より竜田を内一割五分衰り也と云各瓢の量幾許

〔二三〕

大小兩瓢あり其量よ比するよ大瓢七倍よ小瓢九倍よ等  
しく而して其差ハ三合なりと云各量幾許

〔三三〕

大小兩瓢あり今大瓢量を以て小瓢量を除し商六分九厘  
二毛三糸有奇を得たり但し大小俱よ合位に止る問ふ各  
瓢の量幾許

〔四三〕

大中小三瓢あり遞次同割劣りなり只云大量の平方根の  
量幾許



小量に等しく又中量の一升七合二勺八抄なり大小の量各幾許但し升を單位とす

〔五三〕

大中小三瓢あり其量の和を言へば二升九合五勺よして又其差を言へば大より中は三合五勺少なく中より小の二合五勺少なし各瓢の量幾許

〔六三〕

月雪花よ擬ふ三瓢あり共量三升三合四勺四抄よして其量を比するに月より雪は外二割増し雪より花の内三割衰りなるべし各瓢の量幾許

〔七三〕

甲乙丙の三瓢あり其量乙は甲より内二割四分衰りにして丙を乙より三合八勺少し又惣量三升四合なりと云各瓢の量幾許

〔八三〕

或人某盃を執て一升五勺容の瓢酒を飲むよ初日三盃次

〔九三〕

日四盃此の如く日々一盃宛増飲し七日よ至て終よ盡せりと云ふ然らば盃の容量如何  
瓢あり其量一升三合今是と同量の方壘塙の吸筒を作り深さをして方邊より五分七厘七毛五糸長からしめんとす問ふ方邊及深さを幾許よして可なるや

〔〇四〕

瓢あり容量一升四合四勺今是と同量の枳形の吸筒を作り方邊より深さを三寸一分八厘短くせんと欲す問ふ方邊及深さを幾許にして可なるや

〔一四〕

瓢あり容量二升七合三勺六抄五撮五圭八粟あり今此一  
千倍の酒桶を作るにその底徑の頂徑より一割引にして深さと頂徑は同寸にせんと欲す問ふ各幾許にして可なるや



〔二四〕

荷花清香を散ずるに會し上戸下戸酒と餅とを具ふて池亭に遊ぶ其酒は一瓢よして餅は頂一個の三角架に積めり是に於て上戸は五勺の碧筩盃を執て酌み下戸は上戸の一酌毎に頂より一個宛順次よ喫を斯くして六段目を喰ひ尽せしときよ方りて酒全く尽せりと云瓢量幾許

〔三四〕

大小の二瓢あり容量一升二合五勺と八合なり今大よ下酒を盈て小よ上酒を盈つれば其價相等しく又毎升の價を算すれば十一錢二厘五毛の差ありと云問ふ各一升の價幾許

〔四四〕

大小の二瓢あり容量一升三合五勺と九合あり今大よ下酒小よ上酒をつれば其價相等しく而して各一圓宛購へを一升六合の差ありと云毎圓の酒各幾許

〔五四〕

或人一升三合五勺と九合容の兩瓢を攜へ酒肆に到て酒を沽ふよ大瓢よ下酒小瓢に上酒を盈たしむ因て其價を問へば孰も相等しと答へ又一圓の相場を問へば合せて八升ありと答ふ然らば各一升の價幾許あるや

〔六四〕

一升三合容と九合容の兩瓢あり今大瓢よ上酒小瓢よ下酒を盈つれば其價共に半圓なり然るに若し之を交換して盈つれば價相等しと云其價幾許

〔七四〕

前瓢の大に竹葉を盈て小に竹光を盈つれば其價相等しきものあり然るよ又之を交換して盈つれば其價二十六

〔八四〕

錢四厘の差を生すと云各一升の價幾許  
瓢あり容量九合六勺八抄今之よ某數を乗じ其積を抄を



〔九四〕 單位として平方より開き奇零なきを欲す因て某數を問ふ復前題に於て立方より開きて奇零なきを欲す宜しく乘むべき所の某數幾許

〔〇五〕 容量一升八合二勺と一升六合五勺の二瓢あり各幾分の幾個を以て相等するや但し分母の最小なるを欲す

〔一五〕 二瓢及二種の酒あり其量大の一升三合にして小の九合なり今大に上酒を盈つるより小より上酒を盈つれば其價

三錢五厘貴し又大より上酒小より下酒をすれを其價合せて四十九錢五厘なり各一升の價幾許

〔二五〕 大小の二瓢あり其量大の小より四合三勺多し今毎日大より一瓢宛酒を購ふて十一日よ及べり又之を毎日小より一

瓢宛飲み十六日にして殘酒を算するは僅に一合三勺あり

〔三五〕 りと云各瓢の量幾許

容量一升三合と九合の二瓢及三種の酒あり今大より上酒小より中酒を盈つれば其價共より五十五錢三厘又大に中酒

小より下酒を盈つれば其價共に四十一錢七厘又大より下酒小に上酒を盈つれば其價共より四十六錢ありと云各一升

の價幾許

〔四五〕 上中下三種の酒を容量一升一合と七合の二瓢より盈つるに大に中酒小より上酒とすれば其價共より四十二錢又大に

下酒小より中酒とすれば其價共に三十一錢二厘但し各一

升の價共に六十三錢なり因て各一升の價幾許

〔五五〕 甲乙丙の三瓢あり其量遞次同割劣りにて總量三升四合一勺六抄而して丙量八合九勺六抄あるとき甲乙の二



量各幾許

〔六五〕 甲乙丙の三瓢あり容量遞次同差なり今毎升價二十四錢

の酒を甲乙に盈つれば其價共に五十八錢八厘又乙丙に盈つれば其價共よ四十二錢なりと云各瓢量幾許

〔七五〕 三類の瓢遞次同割衰りのものあり其量大より中は二合七勺少く又中より小は二合二勺一抄四撮少しと云各瓢量幾許

〔八五〕 三類の瓢あり其量大の中より二合八勺多し又小は八合九勺六抄よして遞次同割衰りあり因て大中の量各幾許  
〔九五〕 松竹梅の三瓢あり其量共に三升三合今松に毎圓三升一合二勺五抄の上酒を賣て竹梅に毎升二十錢の下酒を賣つれば其共價八十三錢二厘八毛又松梅に上酒を賣て竹

よ下酒を賣つれば其共價前額よ増すこと九錢一厘二毛なりと云各瓢量幾許

〔〇六〕 大小二瓢あり大の容量一升三合五勺なるを知て其他を知らず然れども一升價二十二錢の大瓢酒と一升價十七錢の小瓢酒とを混和すれば平均一升の價二十錢なり小瓢の量幾許

〔一六〕 九合五勺容の瓢あり之よ毎日一瓢を購ひ貯へ四日目より毎日一升一合容の瓢よ一瓢を飲む斯く購ふと飲むと共には解る日あかりせば幾日にして酒全く尽すべきや

〔二六〕 大中小の瓢あり共量三升七合今此内何れよか毎升價二十七錢の酒を賣て其他は毎升價二十八錢の酒を賣てしに價合せて一圓二錢又小は大の半量なりと云各瓢量幾



〔三六〕

許 大小の瓢あり容量孰も勺位に止る只云大瓢七個と小瓢十一個と相等し又小瓢量は僅に一升を過ぐと云因て各瓢の量幾許

〔四六〕

或人容量一升六合五勺と七合との兩瓢を携へ酒肆に到て酒を購ふ其求むる所大瓢一升價十八錢の薄酒を實て小瓢に一升價二十九錢の醇酒を實てしにより若干錢を投せざるを得ず然るも故ありて直を減じ價合せて四十錢ありと云各瓢の價幾許

〔五六〕

月雪花と號する三瓢あり各量二升に過ぎず又各合位よ  
止る只云月七十七個雪九十一個及花百四十三個と互  
相等之因て各量幾許

〔六六〕

大中小の三瓢あり其量共に三升五合八勺今大小に一升價二十五錢の酒を實て中に一升價二十八錢五厘の酒と實つれば價合せて九十三錢七厘又小を大に比すれば内

〔七六〕

三割衰りなり各量幾許  
上下の酒あり一圓ふ付下酒の上酒より一升賤し又一升四合容と九合容の兩瓢ありて大に上酒小は下酒を實て其價を合をせば五十三錢なりと云各酒每圓の相場幾許  
二瓢並ふ二種の酒あり瓢の量は一升三合二勺と九合ふして酒は一圓毎に一升二合の差あり今大に下酒小に上酒を盈て其價を比較すれば小の方六分の五錢貴しと云

〔八六〕

每圓の下酒幾許

〔九六〕

一升六合二勺容の瓢は上酒を實て其價より八合四勺容



の瓢は下酒を實てし價を減すれば殘金三十六錢又每圓の上下酒合せて六升二合一圓の上酒幾許

〔〇七〕 一升三合二勺の瓢に上酒を實て八合四勺容の瓢に下酒を盈て其價合せて四十九錢八厘又每圓の上下酒合せて

九升なりと云大小の酒價各幾許

〔一七〕 瓢は其量一升五合三勺今之に上酒と下酒とを各一瓢

購ふとき九十三錢五厘を要す然して上酒は下酒より

〔二七〕 每圓に付六合少し每圓の上下酒各幾許

一升四合四勺と一斗入の兩瓢あり今小瓢に醇酒を購ふ

と又薄酒を購ふと其共價六十四錢八厘又大瓢は兩酒を一圓宛混して盈つれば恰も充滿すと云然らば醇酒小一瓢の價幾許

〔三七〕 一升六合八勺容の瓢あり之に上酒を購ふより下酒を購へば其價賤しきと十五錢一厘二毛又各一圓宛購ふとき

の共に一斗二合五勺を得べしと云上酒一瓢の價幾許

〔四七〕 一升五合四勺容の瓢に兩酒を購ふあり最初上酒を購ひ

次は下酒を購ふ因て其前後の價を算するに七錢七厘の

差あり但し上酒より下酒の一圓は付一升賤し然らば每

〔五七〕 圓の上下酒幾許あるや

大小の二瓢あり容量共二升八合又上下酒あり大に上

酒を實て小は下酒を盈て其價合せて銀四十匁あり然し

〔六七〕 て各一升の價恰も上酒は大瓢下酒は小瓢の量に相等しと云因て各瓢の量幾許但し合を匁として算す



に種々の酒を調合して實つるに各實つる所の酒一升の價の各其實つる量に適ふ而して價合せて七十三匁三分

〔七七〕

大中小の瓢あり其量を較するより大より中は一合少く中より小は亦七合少し然して中小各自乗數の和は大の自乗數に適ふと云ふ各瓢の量幾許

〔八七〕

大中小の瓢あり其量を算するより大小の和は二升五合にして中の一升五合あり然して中小各自乗數の和は大の自乗數に適ふと云ふ大小の量各幾許

〔九七〕

七曜に擬する瓢あり其量遞次同差あり只云日月の二量合せて三升五勺にして木金土の三量合せて二升五合五勺因て日瓢の量幾許

〔〇八〕

松竹梅の三瓢あり共量三升七合にして遞次同割劣りなり然して梅は竹より三合少し梅瓢の量幾許

〔一八〕

松竹梅の三瓢あり其量松は一升九勺六抄にして梅は六合四勺なり然して梅と竹との割合は竹と松との割合より外一割二分少し竹瓢の量幾許

〔二八〕

甲乙丙丁の四瓢あり共量五升一合一勺六抄なり之を分けて甲より乙は三合少く又乙より以下遞次同割劣りよして丁は八合九勺六抄ありと云ふ甲瓢の量幾許

〔三八〕

甲乙丙丁の四瓢あり遞次同割劣りよして甲量は一升六合又丙丁二量の和は一升五合七勺五抄而して唯乙量如何を知らずと云因て其乙量幾許

〔四八〕

遞次同割劣りの甲乙丙丁の四瓢あり其量甲は一升五合



〔五八〕 よして丙と丁の差は一合九勺二抄なり丙量幾許  
 遞次同割よ劣るべき甲乙丙丁の四瓢あり其量甲は一升  
 五合にして乙ハ丁より四合三勺二抄多し乙瓢の量幾許  
 〔六八〕 四瓢あり遞次同割劣りよして第一量ハ一升六合又第二  
 第四の二量共に一升八合七勺五抄なり第四瓢の量幾許  
 〔七八〕 遞次同割衰との四瓢あり共量四升三合七勺五抄よして  
 其内第一は一升六合なり内何割衰よ當るや  
 〔八八〕 遞次同割劣りの四瓢あり其各量を知らざれども只第一  
 第二の差四合よして第四は六合七勺五抄なるを知る然  
 らば第一の容量如何  
 〔九八〕 木火土金水に擬ふ瓢あり其量遞次同割劣りあり今火土  
 金の三量を合すきは三升六合六勺又木水の二量を合そ

〔〇九〕 れば二升六合四勺三抄あるべし因て木瓢の量如何  
 容量一升一合と九合と七合との三瓢並よ三種の酒あり  
 大中よ下酒を盈て大小よ中酒を盈て中小よ上酒を盈つ  
 れバ其價の和互に相等し又三種一升の價合せて六十錢  
 五厘あり然らば各一升の價如何  
 〔一九〕 松楓柳櫻に擬ふ四瓢あり其量松は六合四勺にして櫻は  
 一升五合又今此各量を算するよ遞次同割増なり然れど  
 も松より楓へは此割合より尙一合六勺を増すべしと云  
 楓柳の二瓢各幾許量あるや  
 〔二九〕 蘭竹梅菊の四君子よ擬ふ瓢あり其量蘭ハ七合二勺にし  
 て菊は一升七合五勺あり今此各量を遞次同割増の法に  
 て算すれば蘭より竹へは此割増に尙三合増すべく竹よ



〔三九〕

り梅へは一合減すべしと云竹梅の二瓢各幾許量あるや  
三種の酒あり之を一升五合三勺容の瓢より一瓢宛購ふと  
死の價金合せて九十三錢三厘三毛又上酒より中酒は一  
圓より付一升賤しく下酒の價は中酒の價より内二割賤し  
と云一圓の上酒を問ふ

〔四九〕

松竹梅の三瓢及松楓柳櫻の四瓢あり松は彼此同量にし  
て彼の三瓢は遞次同一割減り此の四瓢は遞次外二割五  
分増なり然して梅は櫻より九合一勺四抄五撮少しと云  
因て松の容量を問ふ

〔五九〕

松竹梅の三瓢及松楓柳櫻の四瓢あり彼此遞次同割増に  
て且松は相等しく其量八合又梅櫻の量合せて二升六合  
三勺二抄四撮なり因て彼此外何割増に當るや但し彼三

〔六九〕

瓢の割増は此四瓢の割増より外五分多し  
松竹梅に擬ふ三瓢及松楓柳櫻に擬ふ四瓢あり彼此外同  
割増にて其割増合せて四割五分あり然して松は孰れも  
相等し又梅は柳より九勺八抄多く櫻は一升三合八勺二  
抄四撮なりと云竹楓の量各幾許

〔七九〕

次の如く號する五瓢あり田子浦一升四合二勺三笠山一  
升一合七勺難波江九合五勺筑波峰七合六勺泉川六合三  
勺容なり或友人ト此瓢を携へ相伴ふて芳野山より到り櫻  
花を觀る然るは其同伴の人員日々異なるに依て提携の  
瓢數日々同じからず或は一個或は二個或は全瓢を用ひ  
遂に櫻花の散し盡くる頃瓢も亦變數を盡すと云此山の  
花候は幾日間あるや又携ふる所の紅朋共に幾升あるや



〔八九〕 遞次内二割衰りの瓢若干あり其容量共六升九合一勺七抄四撮にして最大の最小より一升二合六勺六撮多量

なり問ふ最大の量幾許

〔九九〕 瓢若干あり遞次同割劣よて容量共六升九合一勺七抄四撮なり又最大一升八合七勺五抄にして最小は第二

より八合八勺五抄六撮寡量なり問ふ遞次内幾割衰りあ

るや

〔〇〇一〕 瓢若干あり遞次一合五勺の差あり其総量ハ八升四合にして最大は一升六合五勺なり然らハ瓢數如何

一瓢百題 終

追加

〔一〕 瓢若干あり其容量遞次内二割衰りにて最大の最量二升五合又最小の量一升二勺四抄なり問ふ総量幾許

〔二〕 瓢若干あり其容量を各自に算すれば遞次二合五勺の差あり合せて算すれば六升二合五勺なり又最小の量は最大

の量の七分の三なり問ふ最大の量幾許

〔三〕 月雪花と号する三瓢あり其容量遞次同割増にて月の量九合二勺あり又蓬菜方丈瀛州と稱する三瓢あり其容量

も亦遞次同割増よて蓬菜の量一升二合八勺なり而して

彼此割増の和外七割よて月と花との差は蓬菜と瀛州との差に等しと云問ふ雪及ひ方丈の量各幾許

〔四〕 元亨利貞と命する四瓢及麟鳳龜龍と命する四瓢あり其



容量彼此遞次外同割増なれども四靈は四徳より割合一割多し而して元の量の五分の四は麟の量なり又貞の量は二升一合九勺七抄にて龍の量は二升一合九勺五抄二撮なりと云問ふ各自量幾許

[五] 松竹梅と号する三瓢及松楓柳櫻と号する四瓢あり其容量彼此遞次外同割増にて松は相等しく其割合の和の四割五分なり又梅の量の一升二合五勺櫻の量は一升三合八勺二抄四撮なりと云問ふ彼此幾割増なるや

[六] 青龍朱雀白虎玄武と誌す四瓢あり青龍の量二升又麒麟鳳凰と誌す二瓢あり麒麟の量一升七合而して彼此同割衰とて其割合も亦相等し又玄武の鳳凰より三合三勺六抄少し問ふ各量幾許

[七] 宮商角徵羽と誌す五瓢あり宮の量七合五勺又松竹梅と誌す三瓢あり松の量八合あり而して彼此同割増とて其割合も亦相等し又羽の梅より四合三抄二撮多し問ふ外幾割増なるや

追加終



答之部

- 〔一〕 一升三合五勺
- 〔二〕 一升一合
- 〔三〕 上酒二十五錢
- 〔四〕 一升三合
- 〔五〕 古二十五錢
- 〔六〕 古二十四錢
- 〔七〕 古二十五錢

下酒二十錢

新十五錢

新十八錢

新二十錢



〔八〕古八合

新五合

〔九〕上酒五合

下酒八合

〔〇一〕三十三錢八厘

〔一一〕二十八錢

〔二一〕大瓢一升三合五勺

小瓢七合

〔三一〕大瓢五度

小瓢七度

〔四一〕十三日

〔五一〕上酒二十八錢

下酒二十一錢

〔六一〕九貫六百文

〔七一〕一升四合

〔八一〕明治大銅錢一個

寬永大銅錢十個

全小銅錢三十五個

〔九一〕上酒六合

下酒七合

〔〇二〕上酒五合

下酒八合

〔一一〕上酒二十八錢

下酒二十四錢

〔二二〕大一升一合

中九合



小七合五勺

〔三二〕  
花一升三合

鳥九合五勺

風一升一合五勺

月七合

〔四二〕  
一升三合五勺

〔五二〕  
一升三合五勺

〔六二〕  
一升三合五勺

〔七二〕  
一升三合五勺

〔八二〕  
大一升四合四勺

小九合五勺

〔九二〕  
上酒二十四錢五厘

下酒二十二錢四厘

〔〇三〕  
更科一升二合

越路一升三合八勺

〔一三〕  
芳野一升二合

龍田一升二勺

〔二三〕  
大瓢一升三合五勺

小瓢一升五勺

〔三三〕  
大一升三合

小九合

〔四三〕  
大二升七勺三抄六撮

小一升四合四勺

〔五三〕  
大一升三合

中九合五勺

小七合



〔六三〕 月一升一合

雪一升三合二勺

花九合二勺四抄

〔七三〕 甲一升五合

乙一升一合四勺

丙七合六勺

〔八三〕 二勺五抄

方邊四寸二分

深四寸七分七厘七毛五糸

〔〇四〕 方邊五寸八分八厘

深二寸七分

〔一四〕 頂徑深各六尺三寸

底徑五尺六寸七分

〔二四〕 二升八合

上三十一錢二厘五毛

下二十錢

上酒三升二合

下酒四升八合

上酒三十一錢二厘五毛

下酒二十錢八厘三毛三餘

〔六四〕 二十三錢四厘

〔七四〕 竹光三十九錢

竹葉二十七錢

〔八四〕 二個

〔九四〕 十一個



大之十四分の十一は小之十五分の十三に相當す

上二十七錢

下十六錢

大一升三合五勺

小九合二勺

上二十八錢

中二十一錢

下十六錢

上二十七錢

中二十一錢

下十五錢

甲一升四合

乙一升一合二勺

〔五五〕

〔四五〕

〔三五〕

〔二五〕

〔一五〕

〔〇五〕

〔六五〕

甲一升四合

乙一升五勺

丙七合

〔七五〕

大一升五合

中一升二合三勺

小一升八抄六撮

〔八五〕

大一升四合

中一升一合二勺

〔九五〕

松一升四合四勺

竹一升一合

梅七合六勺

〔〇六〕

九合



十九日

〔一六〕

大一升六合

中一升三合

小八合

〔三六〕

大一升六合五勺

小一升五勺

〔四六〕

大二十三錢七厘六毛

小十六錢二厘四毛

〔五六〕

月一升三合

雪一升一合

花七合

〔六六〕

大一升四合

中一升二合

小九合八勺

〔七六〕

上酒四升

下酒五升

〔八六〕

三升六合

二升七合

大三十三錢

小十六錢八厘

上酒三升

下酒三升六合

〔二七〕

四十三錢二厘

〔三七〕

四十二錢



〔八八〕	〔七八〕	〔六八〕	〔五八〕	〔四八〕	〔三八〕	〔二八〕	〔一八〕
一升六合	二割五分	六合七勺五抄	一升二合	九合六勺	一升二合	一升七合	八合

〔〇八〕	〔九七〕	〔八七〕	〔七七〕	〔六七〕	〔五七〕	〔四七〕
九合	一升六合	大一升七合	小五合	大一升三合	一升七合	大一升六合
			小八合	中一升二合	小一升二合	下酒五升



〔九八〕 一升八合七勺五抄

〔〇九〕 上二十二錢五厘

中二十錢

下十八錢

〔一九〕 楓九合六勺

柳一升二合

〔二九〕 竹一升二合

梅一升四合

〔三九〕 四升

〔四九〕 八合

〔五九〕 彼二割五分

此二割

〔六九〕 竹一升

楓九合六勺

〔七九〕 三十一日

七斗八升八合八勺

〔八九〕 一升八合七勺五抄

〔九九〕 二割

〔〇〇一〕 七個

追加答

〔一〕 八升四合四抄



〔二〕一升七合五勺

〔三〕雪一升二合八勺八抄 方丈一升六合六勺四抄

〔四〕元一升 麟八合

〔五〕彼の三瓢二割五分 此の四瓢二割

〔六〕朱雀一升六合 白虎一升二合八勺

玄武一升二勺四抄 鳳凰一升三合六勺

〔七〕二割

追加終

算法一瓢百題跋

書數之相待而成用。不啻車之兩輪。蓋天下事物。書以傳其實。數以窮其理。所以各居六藝之一。而為儒術之要也。後世君子。多學於書。至數則往々疏而不講。甘為措大。不能達乎事物之理。經濟之道。何哉。余夙聘師學數。已而專讀書操觚。舊業荒廢。至於以不學焉為人所目矣。今閱茲書。意匠縱橫。推測曲盡。所謂借虛徵實。貫幽入微者。累々然。洋々然。一瓢而究百題之變。非邃于斯道者。其孰能之哉。余自憶昔而傷今。深冀後生小子。由斯而學。觸類而進。察乎事物之理。晰乎



經濟之道。以有裨益於國家之用。因題一言于卷尾云。

甲申夏日

南豐野中準撰

正誤

凡例一葉十二行目	丙替のは兩替等の誤
同二葉	中島這季の棄ノ誤
十一葉六行目	吸筒は吸筒の誤
十二葉十一行目	上酒をの下盈を脱す
十四葉七行目	今大に上酒を盈つるの下酒の誤
同八行目	下酒をすれば下酒を盈つればの誤
二十六葉七行目	遞次同一割は遞次内一割の誤
三十葉六行目	其割合の割増の誤



明治十八年八月十九日出版御届  
同年九月二日出版

定價金貳拾錢

著述人

中島這季

故人

出版人

岡山縣士族

小笠原以志

神田區神田五軒町十八番地

發兌所

小笠原書房

神田區五軒町十八番地

大賣

捌所

東京 博  
信州長野 西澤  
大坂 吉岡  
西京 田中  
信州松本 高美

博聞本  
西澤喜太郎  
吉岡平助  
田中治兵衛  
高美甚左衛門











7134-31

終